

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
*「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、学力の向上を図ります *生徒一人ひとりを徹底的に大切する、きめ細やかな指導を継続し、学校が生き生きと過ごせる場となるようにします。 *家庭・地域・小中一貫教育推進ブロックとの絆を深め、共に学び、共に育つ学校づくりを推進します。 *生徒と職員・保護者と職員・地域と職員そして職員同士の信頼関係を深め、活気ある学校づくりを推進します。 *統合により学区が広がり、関わる地域も広がったが、引き続き地域に根差した愛される学校を目指します。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
確かな学力 (学習指導)		「わかる」「できる」「楽しい」を意識し、基礎・基本の確実な定着を図る。 言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を高める。	校内授業研究会等による、指導方法や授業の改善と、魅力ある分かりやすい授業の展開。 毎日の授業による、基礎的な学力と学習習慣の定着。 計画的な資料の収集と評価活動の工夫による評価・評定への信頼性向上。
	担当		

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

統合前の両校の実態を分析すると横浜市の平均を下回る状況である。1、2年生での学力は、多くの教科で市平均にとどいていない。また、生活意識も同様である。

学力向上に向けては、基本的な生活習慣の確立と、安定した授業展開につながる組織的な生徒指導の充実が必要である。

(2) 教科学習の状況

- 国語科：まず国語に対する意欲をあげていくことに課題がある。言語活動を取り入れ、生徒主体の授業を展開し、学ぶ意欲を向上させていく。また、漢字の書き取りや文法の復讐を繰り返したり、様々な文章を読み取る力を向上させたりする手立てが必要である。
- 社会科：単元の終わりのまとめの作業を丁寧に行い、基礎・基本的な知識の定着に努めることが課題である。一方で、今後も授業において生徒に考えさせるための良質な発問の徹底に努め、思考・判断・表現の力を伸ばしていく。
- 数学科：数学の基礎・基本的な問題を中心に丁寧に指導することで理解度を高めていきたい。
- 理科：身近なことと関連付けながら授業を展開していく。理科に対する意識が低いので、興味を引きやすい実験・観察などを取り入れていくことが課題である。
- 外国語科：外国語を使うことに対して積極的な姿勢がうかがえる。読解の点では、特に説明文から情報を把握する力に課題がある。表現の点では、文と文のつながりに注意して適切な文を作る力に課題がある。基礎基本を習得することで、さらなる学力の向上が期待される。外国語学習意識と学力の関係性からも、外国語を学ぶ意識や意欲を高めていく必要がある。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

生徒は各教科について学習意識が低く、学習することの意義を感じている生徒が少ない。全学年の学力層で見ると、CD層の生徒が市平均よりも3～9%多く、教科書レベルの基本的な内容を十分に身につけていない生徒が多い。また、1日の家庭学習120分以内の生徒が市平均よりも3%多く、一日に読書をほとんどしない生徒が、市平均よりも8%多い状況である。一方、勉強が嫌いだと回答している生徒が市平均よりも2%少ない状況も見られる。

3 平成 28 年度 学年・教科等としての具体的取組

<p>国語</p> <p>○漢字など基礎的・基本的な内容を計画的に反復学習させる。</p> <p>○読書を推奨し、たくさんの文章に触れる機会をつくり、読む力を高める。</p> <p>○短文作りや感想書きなど短い文章を書く機会を多く設け、書くことに慣れさせることによって、書くことへの苦手意識を解消する。</p>	<p>社会</p> <p>○単元の終わりにまとめの作業を行い、基礎・基本的な知識の習得に努める。</p> <p>○授業でわかったことや考えたことなどをノートに書かせ、思考や表現などの力の定着を図る。</p> <p>○単元に関する内容を調べ、発表する活動や少人数によるディベートなどを取り入れ、自分の考えを深める力を養う。</p>
<p>数学</p> <p>○基礎・基本の習得のため、定期テストとは別に、章や単元ごとなどで確認プリントに取り組みせ、自分自身の課題や疑問点を明確にさせる。</p> <p>○単に、公式にあてはめるだけの単純な計算だけでなく、「なぜ」を大切にし、自分の考えを筋道立てて説明したり、表現したりする活動を積極的に取り入れることで、思考力・判断力・表現力を養う。</p>	<p>理科</p> <p>○プリントや板書を充実させ、小テストなどを行うことで基礎的な知識の定着を図る。</p> <p>○科学的思考力を育てるために、実験の予想・考察の時間を積極的に設ける。</p> <p>○興味を引けるように、身近なことやニュースなどで取り扱われた内容などに関連付けながら授業を展開していく。</p>
<p>音楽</p> <p>○歌唱領域では、発声練習や歌う姿勢を全学年で共有し、1人ひとりが表現活動に意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>○器楽領域では、基礎・基本となる奏法を身につけ、様々な楽曲に取り組ませる。</p> <p>○鑑賞領域では、世界の音楽を全学年通して鑑賞させる。また、その魅力や美しさを体感させ、音楽のもつ響きや良さを味わわせる。</p>	<p>美術</p> <p>○生徒一人ひとりが意欲的に表現主題を追求できるように、基礎的・補足的な指導を充実させる。</p> <p>○名作の鑑賞や生徒同士の他者評価を鑑賞の授業に取り入れることで、言語活動の充実を図っていく。</p>
<p>技術・家庭</p> <p>○生徒が授業の中で課題を発見し、その課題を解決することで、基礎・基本の学力の定着を目指す。</p> <p>○情報の授業で表現力を向上させる題材を設定する。</p> <p>○生活にあてはめられる題材から思考力の充実や実践による判断力の向上をはかる。</p>	<p>外国語</p> <p>○基本的な英文のパターンを繰り返し練習することで、基礎的な表現を身につける。</p> <p>○読む力や語順を身につけるために、教科書以外の英語の文章に触れる時間を設けていく。</p> <p>○身近な話題についての理解や簡単な情報交換ができるような表現活動を取り入れ、外国語学習意識や意欲を高めていく。</p>
<p>特別活動</p> <p>○コミュニケーション能力を育み、よりよい人間関係を築かせるために、行事活動の充実を図る。</p> <p>○協力して問題解決する態度を育てるために、相手の考え方や思いを尊重する話し合い活動をする。</p>	<p>総合的な学習の時間</p> <p>○働く人の話を聞き、現在の自分を見つめ、将来について考えを深める。</p> <p>○職場体験を通じて、働くことの意義を理解し、自己の進路選択に生かす。</p> <p>○職業について学んだことを整理分析し、具体的な計画を立て、行動につなげていけるようにする。</p>
<p>個別支援学級</p> <p>○個別の指導計画に基づき、個にあった指導方法を工夫し、評価・改善を行い、指導の充実を図る。</p> <p>○授業形態や学習集団の構成を工夫し、個々のコミュニケーション能力の育成を図る。</p>	